

6歳臼歯は
8020への
道しるべ

6歳臼歯
保護育成運動
推進シンポジウム

報告書

シンポジウム「6歳臼歯は8020への道しるべ」

コーディネーター

愛知県歯科医師会専務理事 坂井 剛

先ほど田中先生のお話にもありました、効果がはっきり出ないということと、もう一つは、よいとわかっているにもかかわらず全国的に広まらないということがございます。この辺をやはり何とかしなければいけないということがあります。最近では各市町村の現場から、8020運動はいいけれども、何をやればいいんだという疑問がよく寄せられます。それにこたえるには、やはりいろいろな形での事業をメニュー化したしまして、こんなこともできるじゃないですかと、各市町村で一遍考えてみてください。しかもこれは行政と一緒に、歯科界も協力してその地域住民の健康増進のためにやるという目標をはっきり定めてやる仕事ではないかということでございます。

国保事業ということは、我々はそれまで全く歯科では関係のないものと考えておりましたが、実はよく考えてみますと、市町村、細かい単位の地域住民の方たちの健康を守るには、この国保といえますか、国保の保健事業というものがいかに有効であるかということをご昨日も思い知らされたわけでございます。これはぜひとも各地元にお帰りいただいて、市町村単位で何とかお話し合いをいただいて、1つでも2つでもその中から自分のところの実情に合ったやりいいものを選んで、少しでもやっていただくということがこれからの発展に大きく寄与するのではないかというふうに考えます。

きょう、シンポジウムとしてその現場で一生懸命汗を流しておられる先生方に御発表いただくわけでございます。現実にはやってみるといろいろな問題があると思います。それが今日いろいろな形で皆さんの前に発展されるのではないかというふうに考えます。問題は問題として確かに解決をしていかなきゃいけません、それ以上にやるという気迫を持ってこの事業を進めることではないかというふうに考えます。まさに田中先生の講演にございましたブレイクスルー、ここを突破するという時点に来たなという感じがいたします。